

こんにちは! 社協です!!

ふれあいネットワーク

2014

5月

No.107



ひ孫と
いっしょ

シリーズ106

波賀町 上野

おかもと おときち
岡本 音吉さん(88歳)

ゆう な
○結愛ちゃん(8歳)

やまと
○大和くん(5歳)

おかもと かずや りか
岡本 和也さん・里花さん

■長女・長男

特集

地域福祉に
なくてはならない

善意銀行

千種支部の「在宅介護者の会」と「市男性介護者の会」がハーモニカの演奏を聴きながら交流会を開催。(H25・8・22 エーガイヤちくさ) 善意銀行は、当事者の支援にも活用されています



6月1日は『善意の日』

兵庫県と兵庫県社会福祉協議会が、「みんなの小さな善行や善意が重なり世の中が明るくなるよう、県民だれもが、この日何かひとつ良いことをしよう」と呼びかけ、昭和39年に『善意の日』を制定しました。

『善意銀行』は現在のボランティアセンターの前身として、ボランティア活動が全国に広がるきっかけとなりました。

今月号では、宍粟市社協の善意の日の取り組みと、善意銀行について考えます。

地域福祉になくてもならない

善意銀行

宍粟市社協の『善意の日』の取り組み

宍粟市社協では、この善意の日から始まる6月1日からの1カ月を善意推進月間として、社協広報車やしいたん放送による呼びかけ、幼稚園や保育園の園児によるパレード、大型店舗など街頭でのチラシや風船等の配布など、理解や協力を呼びかける啓発活動に取り組んでいます。

また、ボランティアセンターでは、「ボランティアの日」を設けて、市内の福祉施設や主要な道路の清掃美化活動などに取り組み、広く参加を呼びかけています。

宍粟市の地域福祉になくてもならない善意銀行

宍粟市善意銀行には、供養やお見舞返しにかえて、幸せのおすそわけなど、年間を通じてた

平成25年度 善意銀行(一般預託)の預託内訳

預託内容	件数
供養(香典返し)として	170件(167)
見舞返し・快気祝いとして	38件(37)
福祉用具貸出のお礼として	16件(19)
福祉サービスのお礼として	2件(0)
幸せのおすそわけとして	9件(2)
貸出備品のお礼として	1件(0)
地域福祉のために	72件(85)
合 計	308件(310)

※昨年6月から始めた金額の掲載を希望された方は25件
※()内の数字は、平成24年度預託数

くさんの預託をお寄せいただいています。その預託金は、宍粟市の地域にあつた福祉活動を推進していくために、なくてはならない財源です。善意銀行は、お寄せいただいた善意(預託金・物品)を福祉につなげ、地域福祉をより充実するために、とても重要な役割を果たしています。

平成25年度 宍粟市善意銀行の収支状況(報告)

【収入】		(円)
寄 付 金	収入金額	
6月善意の預託	5,013,295	
一般預託	9,865,618	
平成25年度預託金合計	14,878,913	
利息	2,097	
前年度繰越金	4,191,287	
収 入 合 計	19,072,297	

【支出】		支出金額
払出しの内容		
地域福祉の推進に ・ボランティア連絡会、ボランティアグループ (116グループ)への助成 ・福祉団体(5団体)への助成 ・福祉委員や福祉活動リーダー研修事業 ・「小地域福祉活動リーフレット」作成 ・「子育てサロン」など子育て支援事業 ・「在宅介護者の会」「男性介護者の会」 など当事者支援事業 ・福祉まつり等、イベントの実施 ・短期里子事業 など	11,875,000	
社協の4つの支部の地域福祉推進事業や支部かわら版の作成に	1,671,468	
結婚相談事業に	190,000	
くらしや福祉、介護等に関する総合相談事業に	66,000	
家屋火災見舞金(4件)に	80,000	
フィリピン台風災害義援金に	119,429	
善意銀行運営経費として	14,001,897	
支 出 合 計	14,001,897	
平成26年度へ繰り越し	5,070,400	

災害など『もしもの時』 に対応するため

平成21年の台風9号豪雨災害の際は、被災された世帯に善意銀行からお見舞金をお届けしました。

また、県外や海外などで大規模な災害が発生した場合の支援活動や義援金としても活用しています。

さらに身近な地域で 活用するために

また、もしもの時の備えとして、とくに災害ボランティア活動の経費として活用する準備もしています。

預託いただいた皆様の「自分たちの善意を身近な地域で活用してほしい」という想いにお応えするため、理事会や各支部の

地域福祉推進委員会で協議しています。

また、当事者の支援やそれぞれの地域に合った活動の推進、より身近な情報を発信するため

の「社協支部かわら版」の発行や地域の福祉行事、ふれあい活動への貸出備品や機材等の購入などに活用しています。

6月の善意の預託に ご協力ください

6月の善意推進月間中には、毎年のごとで誠に恐縮ですが、自治会長様を通じて『善意の預託袋』をみなさまのご家庭にお配りします。

今年度もみなさまのあたたかい気持ちを善意銀行へお寄せいただきますよう、ご協力をよろしくお願いいたします。



波賀支部で実施した街頭啓発活動の様子
(H25.6.3 ハリマ農協 A コープはが)

今後も、預託者のお気持ちを大切に、さらに身近な地域で活用していただけるよう十分に協議してまいりますので、ご協力をお願いいたします。

(山崎支部 森井裕矢)

や

まさき

体験学習で「気持ち」を学ぶ

山の学校福祉学習



メモを取ったり、うなずきながら熱心に取り組む生徒たち

気づきにくい不便さやコミュニケーションの大切さを学ん

「お互いを信頼してないと怖い。でも、周りの状況や進む方向を伝えてもらおうと安心できた」と、普段は

今年度は、4月22日(火)に生徒13人がアイマスクと車いすの体験をしました。

山の学校(山崎町五十波)では、相手の気持ちを考える機会として、毎年4月に福祉学習を実施しています。



社協職員が体験を指導
無理せず、周りの人を頼るのも大事です

だと生徒たち。

また、授業に同席された三輪智英校長は「社会ではいろいろな人が生活しています。今日の体験を忘れずに、今後の生活に活かしてほしい」と、思いを話されました。

始まったばかりの学校生活。これから1年間、寮での共同生活や実習、地域交流など様々な機会の中で、今日の「学び」気持ちをぜひ活かしてくださいね。

(山崎支部 草田希望)

い

ちのみや

桜色ジャンパーは福祉委員

西深さくらまつり

4月13日(日)、西深自治会で『さくらまつり』が行われました。

この日进行っていたかのように、川沿いに植えられた約100本の桜が一斉に咲き誇り、会場の公民館前では、子どもからお年寄りまでたくさんの笑顔が見られました。

なかでも目を引いたのは、ひとり暮らしの高齢者やまだか園の入居者の方を招待し、おもてなしをされる福祉委員のジャンパーでした。

今回のまつりがお披露目となったこのジャンパーは、平成24年度から2年間、社協から指定を受けた「小地域福祉活動モデル地区事業」の西深の取組みの一つとして作られました。

「ジャンパーを着ることで誰が福祉委員か知ってもらい、困ったことがあれば気軽に助け合えるきっかけにしたい」と代表福祉委員

の田路伸吾さん。

おそろいのジャンパーには、福祉委員の活動を多くの人に知ってほしい、自分たちの自覚も高めようという思いが込められています。

西深の福祉活動がさらに進むよう、今後も見守っていきます。これからの桜色のジャンパーの活躍が楽しみです。

(本部・一宮支部 三宅あゆみ)



ジャンパーには「西深福祉連絡会」の文字が!

は
が

包丁研ぎぐらいなら任せといて!

4人のお助けマンがお手伝い

4月14日(月)、メイプル福祉センターの調理室をのぞくと、包丁研ぎをしている男性グループの姿が見られます。

これは、「包丁が切れへんなあ」「包丁の研ぎ方を教えてもらえたら…」など、日頃から調理室を利用される人たちの声にこめられたものです。

当日は、小谷広子さん(波賀ボランティア連絡会長)の声かけで、「包丁研ぎぐらいなら任せといて!」とばかりに、配食ボランティアの阪元晃さんをはじめ、4人の有志が集まりました。

包丁の説明から始まり、研ぎ方のポイントなど実践を交えながら指導され、研ぎあげた包丁はトマトの薄切りなどで切れ味を確認。参加者からは、「野菜がスパツと切れて嬉しい!」といった声が聞かれ、上々の切れ味だったようです。



「刃をようみて…手をあてても切れへんで。丸いやる!」

小谷さんの声かけと、阪元さんの「任せといて!」で実現した包丁研ぎ教室。このような、声かけひとつで気軽にお手伝いいただける、『お助けマン』のようなボランティアの輪が穴栗市全体に広がるといいですね。

(波賀支部 坂本幸子)

ち
くさ

健康や生きがいがづくりはここから

エーガイヤちくさの屋内運動施設



全天候型の施設です

「今日は、な、ラジオ体操もしたで。5月は田植えで忙しいで、次は6月や。また見に

とから、年間を通じて幅広い年代の方が利用されています。

4月22日(火)、エーガイヤちくさ(千種町室)の屋内運動施設をのぞいてみると、七野老人クラブの皆さんがグラウンドゴルフを楽しまれていました。



自治会の運動会や消防団の操法練習など、ジャンルを問わず楽しんでいただける施設です

「今日来てや」と老人会長の村上公昭(きみあき)さん。ゲートボールをはじめ、雨の日や冬の間には、少年野球や走ろう会、中学校や高校の部活動など、利用の内容もさまざまです。これからもこの施設が、住民の交流の場として、また健康や生きがいがづくりにも有効に活用されることを期待しています。(千種支部 小原志のぶ)

「ボランティアの日」のお知らせ

6月は善意推進月間です。

誰もが参加できる「ボランティアの日」を計画しました。普段ボランティアの機会がないという方も、ぜひこの機会にご参加ください。

千種

千種ボランティア連絡会と協力し、千種町内の美化活動『ゴミ拾い』を行います。



日時 6月7日(土) 9:00~11:00

場所 千種町内の国道・県道沿い
(千種保健福祉センター集合)

内容 ゴミ拾い

持ち物 軍手、火箸、ナイロン袋

△お問合せ:千種支部

一宮

一宮ボランティア連絡協議会と協力し、はりま自立の家で、施設内の清掃活動を行います。



日時 6月11日(水) 9:30~11:00

場所 はりま自立の家(一宮町伊和)

内容 施設内の清掃作業

持ち物 軍手、雑巾など

△お問合せ:一宮支部

『声の便り』のご利用を! リスナー募集

朗読ボランティア『ふきのとう』では、毎月発行の「こんにちは!社協です!!」や「広報しそう」などを録音し、「声の便り」を希望される方々にお届けしています。

読むことが困難な方、日々のお仕事などで忙しく読む時間がない方等…。多くの方にご利用いただけたらと思います。

ご希望の方は、ぜひお知らせください。



録音の様子

△お問合せ:各支部

新任職員 紹介



本部・一宮支部
コミュニティワーカー
三宅 あゆみ

私は社協職員となって、地域の福祉を支えて下さるさまざまな立場の方と出会い、これまで一住民として安心して生活を送っていたことに感謝する日々を過ごしています。それと同時に、地域のパイプ役という重要な役割に対して、不安もありますが大きな希望を抱いています。

また、「ふだんのくらしのしあわせづくり」には、日頃からの交流活動や助けあい結びつきを深める必要があると感じています。そのために、実際の活動やこの広報を通して、社協をより身近に感じていただき、地域と協働するワーカーになれるよう努力していきたいと思っています。

未熟ではありますが、持ち前の笑顔と元気で地域のみなさまと共に頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。